

米粉用米の加工・販売の推進等により、所得を向上

(じょうえつし)
【新潟県上越市】

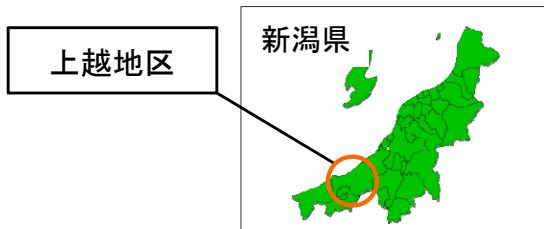
目標：販売額の増加 整備内容：農産物等加工施設、鳥獣被害防止柵(61km)

【工夫のポイント】

- 主食用米の需要が減少する中、米の新規需要として米粉麺に着目
- 米粉麺の需要の伸びを受け、製造施設の増強と更なる販路の拡大を推進。米粉用米の増産を図り、農業者の収益性を向上
- 鳥獣被害防止対策を推進し、農作物被害を軽減

【取組地域の概要】

- 位置 (じょうえつし)
新潟県上越市
(過疎(一部)、振興山村(一部)、特定農山村(一部)、特豪)



- 主要作物
・水稻(主食用米、米粉用米)
- 主な支援施策
・農地再編整備事業(国:H5~H12)
・経営体育成基盤整備事業(県:H10~H32)
・中山間地域直接支払交付金(国:H12~)

【整備前】

地質・気象条件から、畑作や施設園芸への転換が困難で、稲作単一経営が大半を占める

地区内の米粉用米を原料とした米粉麺の需要が伸び、供給が追いつかない状況(原料は契約栽培により地区内農業者から買取)

【(参考)米粉麺製造の取組経緯】

- H20に(独)農研機構が製麺用米「越のかおり」を育成し、製麺会社が米粉麺の製造を開始
- 独自の製麺法により東南アジアの麺料理に適した現地と同じ食感の「国産米粉麺」を製造
- H27に国内の大手タイ料理チェーンと、H28にはベトナム料理チェーンと契約

施設整備

基盤整備



米粉麺の製造施設増強と販路拡大

- 米粉麺の需要拡大を好機と捉え、米粉麺製造能力を増強(製麺ラインの増設、米・米粉用特定温倉庫の整備等)
- 米粉麺の消費者ニーズや小売店の取扱意向の把握、需要予測の検討を行い、市場(外食、袋麺)で一定のシェア確保を目指す



米粉麺の製造ライン



オリジナル袋麺



冷凍フォー(パルスシステム)

加工・流通

生産現場

米粉用米の増産による収益性の向上

- 国産米粉麺の需要の伸びによる、米粉用米の引き合いの高まりを受け、地区内の米粉用米の生産拡大を推進



鳥獣被害防止対策等による販売額の向上等

- 鳥獣被害の著しい農地に侵入防止柵を設置し、農作物被害の軽減による販売額の向上
- 農地の大区画化や用水路のパイプライン化を推進し、米粉用米の生産コストを削減

基盤整備



新規需要の開拓等による販売額の向上

- 米粉麺製造施設の増強と販路拡大の取組により、米粉用米の需要を拡大
- 米粉用米の増産により、地域農業の維持と農家の収益性を向上
- 鳥獣被害防止対策の推進により、農産物被害を軽減

(百万円) 販売額

